

## 【男性不妊について】

男性不妊とは、不妊の原因が男性側に存在するものを指し、一般的に不妊原因の約50%は男性側にあるといわれています。SQA-iOでは基本的な精子濃度や運動率、また人の目では測れない高速前進運動精子濃度やSMI (Sperm Motility Index) など含め計15項目測定することが可能です。

## 【精液検査とは】

通常、精液検査では、精液量、精子濃度、運動率、正常形態率などを調べ、WHO精液分析ラボマニュアルの下限基準値と比較しています。1 mlの精液の中に存在する精子の数を精子濃度といい、その中で前進運動をしている精子の濃度を前進運動精子濃度と呼び、速度の速い前進運動精子が受精には深く関与しているため、精子濃度と運動率だけで精子の分析をするのでは、正確な受精能の予測は出来ないことが問題でした。

最新型モデルSQA-iO使用



院内で75秒で簡単結果判定



## 【 SMI(Sperm Motility Index) とは】

SMIとは、MES社が30年以上前に設けた基準で、運動精子濃度と平均精子速度を組み合わせで数値化したものであり、精子の状態が良好であるほど高い値が示されます。一般的にはSMI 80を下限基準値として定め、受精方法を決める重要な指標の一つとして海外および国内でも広く認知されています。

	SMI	前進運動精子濃度 (×10 <sup>6</sup> /ml)	精子濃度 (10 <sup>6</sup> /ml)	前進運動率
下限基準値	80	4.8	16	30(%)

## 【SQA-iOでの精子の判定基準】

パラメータ	結果	単位	基準値	運動性グラフ
濃度	105.0	百万/ml	>=16	<ul style="list-style-type: none"> <li>高速前進運動率 (%)</li> <li>低速前進運動率 (%)</li> <li>非前進運動率 (%)</li> <li>不動率 (%)</li> </ul>
運動率	56	%	>=42	
前進運動率	48	%	>=30	
高速前進運動率	32	%		
低速前進運動率	16	%		
非前進運動率	8	%	<=1	
不動率	44	%	<=20	
正常形態率	9	%	>=4	
運動精子濃度*	58.9	百万/ml		
前進運動精子濃度*	49.8	百万/ml		
高速前進運動精子濃度*	33.1	百万/ml		
低速前進運動精子濃度*	16.7	百万/ml		
機能精子濃度*	10.4	百万/ml		
曲線速度 (VCL)*	45	μm/秒	>=5	
SMI*	266	---	>= 80	

\* MESパラメータはアスタリスク(\*)で示されています

※ WHOの調査では、検査結果は体調不良やストレス等により大きく変わることがわかっています。

1回目の検査で虚弱に分類されてしまった場合でも、喫煙/飲酒/睡眠不足/ストレスなどを解消して再検査を受けることで、正常値を得られることがあります。体調管理を心がけて再検査を受けることをお勧めします。